

会津大学学際研究フォーラム 2023

10月1日(日)2日(月)

□ 開学 30 周年記念事業 □



テーマ 知の発生、知の再現、知の利用
～新しいAI時代における会津大学の役割～

主催：会津大学
先端情報科学研究センター (CAIST)
AIセンター (AI Center)
宇宙情報科学研究センター (ARC-Space)

事前申込制 ※お申込みは上部の二次元コードより 9/28(木) まで。

10/1(日) 第一部：大学院生成果発表 IEEE Student Branch 主催 ※英語・日本語

09:00 - 11:00 - 11:30
ポスターセッション：研究棟 ALO 前 白 寅天、吉岡 廉太郎
大学院の紹介、IEEE、他の学術学会の紹介：研究棟 S4 教室 会津大学副理事長兼副学長：趙 強福



<YouTube ライブ配信 (日本語のみ)>

13:00 - 13:05 第二部：AGI 時代における大学の役割：講義棟 大講義室 ※日本語・会場のみ英語通訳あり

13:05 - 13:05 開会あいさつ 会津大学副理事長兼副学長兼 AI センター長：趙 強福

基調講演 1



「半導体技術と AI コンピューティングの進展」

産業技術総合研究所 AI チップ設計拠点 拠点長

内山邦男氏

13:55 - 14:05 休憩

基調講演 2



「新しい IoT の取り組み～月火星箱庭構想のための通信要素技術紹介」

情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター 研究統括

村田健史氏

14:55 - 15:45 基調講演 3



「クラウドシステムによる脳波診断支援の AI 構築とその運用事例」

東京農工大学大学院工学研究院 先端電気電子部門 教授

田中聡久氏

15:45 - 15:55 休憩

15:55 - 17:25 パネルディスカッション 「AI 時代における産学官連携のあるべき姿」 座長：会津大学 教授 陳 文西

- ・内山邦男氏 ・村田健史氏 ・田中聡久氏
- ・泉 光一氏 (アルプスアルパイン株式会社 インフォテインメント & サウンド事業担当付部長)
- ・久田雅之氏 (株式会社会津コンピュータサイエンス研究所 代表取締役所長)
- ・石橋史朗 (会津大学 産学イノベーションセンター長)



17:25 - 17:30 クローズトーク 会津大学産学イノベーションセンター長：石橋 史朗

<YouTube ライブ配信 (日本語のみ)>

10/2(月) 第三部：研究センター・クラスター成果発表：講義棟 大講義室 ※日本語・会場のみ英語通訳あり

09:30 オープニングトーク 会津大学先端情報科学研究センター (CAIST) 長：中村 卓人

- ・月惑星探査アーカイブサイエンス拠点としての ARC-Space 共同研究プログラム成果紹介 [宇宙情報科学研究センター]
- ・サイバーフィジカルシステムとオンラインジャッジを内包したクラウドロボティクスシステム [ロボット情報工学クラスター]
- ・不揮発ロジック回路技術とその IoT デバイスへの応用 [IoT クラスター]
- ・人の暮らしに貢献する画像認識技術の実現を目指して [ビジョンクラスター]
- ・スマートデザイン：人間中心の適応的な「人間・コンピュータ」共創 [スマートデザイン]
- ・環境認知と学習に基づく車載型衛星通信装置の診断と最適化 [先端的ネットワーク]
- ・大規模言語モデルに基づくマルチエージェントシミュレーションとそのメディア効果推定への応用 [データサイエンスとエンジニアリング]
- ・サイバーセキュリティと AI の未来：脅威と対策の進化 [情報セキュリティ]
- ・グリーンコンピューティングに基づいた大型交通データに潜む「回復知」の発見 [知的交通システム]
- ・大規模言語モデルの助けをもとにした AI モデルの開発 [自動 AI システムデザイン]
- ・光学、人工知能、医療工学の融合とイノベーション [生体情報工学]
- ・ARC-HPC クラスターにおける最近の研究課題 [高性能計算とシミュレーション]
- ・ARC-SDU クラスターの活動報告 [衛星データの利用]

15:00 閉会あいさつ 会津大学宇宙情報科学研究センター (ARC-Space) 長：出村 裕英



参加無料
事前申込制

※最新情報は上部の二次元コードよりご確認ください。
(お問い合わせ) 会津大学 事務局 企画連携課 企画係
電話 0242-37-2510 E-mail: chplanning@u-aizu.ac.jp

10月27日(金) 会津 IT フォーラム 2023 開催!!
『デジタルテクノロジーと地域社会
～社会実装の最前線、福島県の取組み～』

11月4日(土)・5日(日) 会津大学学園祭「蒼翔祭」開催!!
テーマ：cd./UoA 30th
～思い出いっぱい、30年目～



会津大学学際研究フォーラム 2023 講演者概要

第二部：AGI 時代における大学の役割

最近、チャット GPT などの汎用人工知能 (AGI: artificial general intelligence) が話題になっている。間違いなく、AGI の出現は、人類社会の大きな転換点である。このタイミングで、教育研究の方向を早く、正しく決定することは、本学が引き続きコンピュータ理工学分野で主役を演じるために重要である。どのような内容を教育に新たに導入すべきか、どのようなテーマを戦略的研究に取り組むべきか、どのような形で社会に貢献していくのか、などについて、基調講演、パネルディスカッションを通して、さまざまな角度から議論していきたい。

学外登壇者紹介

■内山 邦男氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所 AI チップ設計拠点 拠点長

東工大大学院情報科学科修士卒、博士 (工学)。

1978 年に (株) 日立製作所中央研究所に入社。以来、CAD、メインフレーム、マイクロプロセッサ、コンピュータシステムの研究に従事。日立製作所の技師長、理事、技術顧問を経て、現在、産業総合技術研究所の招聘研究員として NEDO 事業 / AI チップ設計拠点の拠点長を務める。

民生用マイコン技術の開発で、市村賞、科学技術長官賞、紫綬褒章などを受章。

IEEE / 電子情報通信学会フェロー、IEEE コンピュータソサイティ理事 (2016-2021)。

■村田 健史氏 国立研究開発法人情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター 研究統括

1963 年生まれ。1995 年 3 月京都大学大学院工学研究科博士後期課程電子工学専攻単位認定退学、

1995 年 5 月京都大学博士 (工学)、1995 ~ 2003 年愛媛大学工学部、2003 ~ 2007 年愛媛大学総合情報

メディアセンター、2008 年 ~ 現在 情報通信研究機構。その他、京都大学生存圏研究所「電波科学計算機実験 (KDK) 全国国際共同利用専門委員会」委員 (2011 年 ~) など。

著書に『ひまわり 8 号と地上写真からひと目でわかる 日本の天気と気象図鑑』

■田中 聡久氏 国立大学法人東京農工大学大学院工学研究院 先端電気電子部門 教授統括

1997 年東京工業大学 工学部 電気・電子工学科 卒業、2002 年東京工業大学 博士 (工学)、

2002 ~ 2004 年理化学研究所 脳科学総合研究センター、2004 年 ~ 現在 東京農工大学。

その間、2011 年ハワイ大学マノア校 客員研究員。2022 年 ~ 株式会社 Sigrion 共同創業者・取締役 CO。

アジア太平洋信号情報処理協会 副会長 (会員担当)、Neural Network 誌 編集委員。

■泉 光一氏 アルプスアルパイン株式会社 インフォテインメント & サウンド事業担当付部長

1987 年北九州工業高等専門学校電気工学科卒業、

1987 年アルプス電気 (株) 入社 いわき事業所 (旧アルパイン (株)) 配属、

カーオーディオ / ナビゲーション開発に従事。

2016 ~ 2019 年アルパイン アメリカ R&D 出向、2019 年アルプス電気とアルパインが統合され、

アルプスアルパイン (株) に。2021 年 ~ アルプスアルパイン (株) ソフト戦略担当部長。

■久田 雅之氏 株式会社会津コンピュータサイエンス研究所 代表取締役所長

愛知県常滑市出身。

1993 年に開学したコンピュータサイエンスを専門とする会津大学の第一期生、

2002 年同大学院博士後期課程修了 (コンピュータ理工学博士)。ベンチャー企業の研究員、大学の教員を

務めた後、2007 年に株式会社会津ラボを創業、ブロックチェーン技術を活用した電力取引や自動運転の実証試験など先端的な研究開発に取り組む。

2019 年 4 月に会津コンピュータサイエンス研究所を設立 (代表取締役所長)、

現在はエネルギー分野での IT・ICT 技術を活用した先端的な研究開発に取り組んでいる。

第三部：研究センター・クラスタ成果発表

< キーワード >

月惑星探査アーカイブサイエンス / サイバーフィジカルシステム / 人工知能 (AI) / 機械学習 / 回路設計 / パターン認識 / 高次元データ可視化 / 創造支援システム / ビッグデータ / リモートセンシング / サイバーセキュリティ / パターンマイニング / AI システムの自動生成 / 医療工学 / データサイエンス / ハイパフォーマンスコンピューティング / 量子アルゴリズム / ディープラーニング / 産学連携 / 共同研究